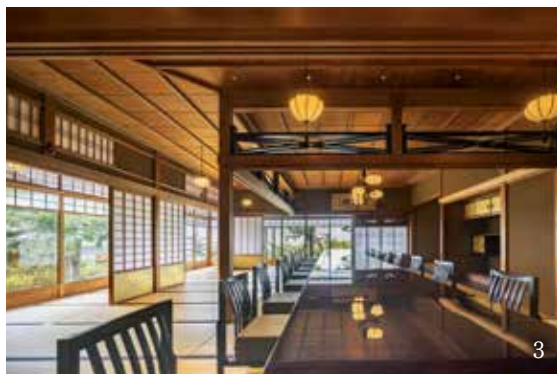




1



2



3

京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都) 概要

- 所在地 京都府京都市東山区高台寺町359 他
- 建築主 ㈱竹中工務店、㈱京大和
- 設計者 ㈱竹中工務店、トニーチャー・スタジオ、北山造園
- 施工者 ㈱竹中工務店
- 竣工日 2019年9月30日

- 敷地面積 8,796㎡
- 建築面積 3,162㎡
- 延床面積 13,525㎡

- 階数 地上2階、地下4階
- 構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、木造



詳細や他の写真などは
左記の二次元コードから
Webページにアクセスして
ご覧ください。

のクレームなく搬出したとのこと、まさに綿密な段取りと施工計画により完成されたものである。

ちで配置され、ホテル内を傾斜に沿って外部と内部を縫って上がっていく回遊動線となっている。その所々では京都の街の景観が望め、翠

紅館やレストランなどのポイントからは、回遊して麻痺した方向感覚を確かめるように「八坂の塔」が望めるといふ計算しつくされた心憎い演

1. シグネチャーレストランとBAR
2. 客室内観
3. 翠紅館広間

出もなされている。ホテル棟はその洗練されたディテールの庇・軒により重層的なファサードを構築していると同時に、客室内からの視線を制御しつつ開放的な眺めも確保している。

庭園・歴史的建築の保存再生、街並みと調和した新築建物、施工中の安全対策、擁壁構築による土砂災害対策、既存生態系の保存・再生などどれをとっても単なる収益目当ての再開発ではなく、オーナー、開発者、設計者、施工者が一体となつて地域と歴史と融合した新しい価値を生み出したプロジェクトである。



日建連表彰2024



第65回BCS賞

京都東山計画 (山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)

選定理由【選考委員】

有賀 隆・小堀哲夫・賀持剛一

京都の景勝地である東山の山裾で長きにわたり料亭「京大和」として親しまれてきた歴史的な建築群と庭園を移築、改築により保存再生するとともに、世界的ホテルを誘致・新築し、双方を違和感なく見事に共生させたプロジェクトである。設計・施工者である建設会社の開発部門が事業企画から関与し、敷地オーナーである京大和と一緒に、なつて事業スキームを構築した。それは単に再開発のスクラップ&ビルドにより新しい大規模複合施設を立ち上げるのではなく、総合力、技術力更には伝統の技を駆使して既存の歴史的建築物を蘇らせ、その周りにボリュームを抑えたホテル棟を新築するという、歴史、環境、地域すべてにおいてマインドフルなプロジェクトである。

築一〇〇年以上を経て劣化により傾いていた料亭棟は揚家し鉄筋コンクリート造の地下階と基礎を構築、また茶室は吊上げて移築し改修工事を行った。この極めて困難な歴史的建物再生工事を庭園を保存しながら施工し、更にその周りでは大規模な地下掘削工事が行われている。周辺の街並みに配慮した建築計画により建物高さを一〇㍎以下に抑えるため、地下にはホテル棟の六〇%が収められているという。敷地内高低差二八㍎という傾斜地で最大掘削深度二三㍎という困難な施工条件も加わっている。傾斜最上部の隣地には大きな寺社建築が隣接しており過去には地滑り被害もあったとのこと。今回の工事で大規模な擁壁を構築し地域の災害対策にも貢献している。地下工事の搬出土量はダンプ一九、〇〇〇台に上ったが、コロナ禍前で人が溢れている観光地のしかも狭小の道路を一切

BCS賞

BCS賞は、建築の事業企画・計画・設計、施工、環境とともに、供用開始後1年以上にわたる建築物の運用・維持管理等を含めた総合評価に基づいて選考し、建築主・設計者・施工者の三者を表彰する建築賞です。この賞は、1960年にはじまり2024年で65回を数えました。

《日建連表彰2024 第65回BCS賞受賞作品》 石川県立図書館／エスコンフィールドHOKKAIDO／Otemachi One／OKI本庄工場H1棟／春日台センターセンター／京都東山計画(山荘 京大和・パーク ハイアット 京都)／高槻城公園芸術文化劇場／東京ミッドタウン八重洲／ところざわサクラタウン／那須塩原市図書館 みる／福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館／MIYASHITA PARK／明治大学創立140周年記念 和泉ラーニングスクエア／屋島山上交流拠点施設「やしまー」／読売テレビ新社屋